

農業



平成29年9月号
会誌 No. 1629

目次

巻頭言

屈しない人たち……………岸 康彦 3

論壇

原発事故からの農業復興と今後の課題……………土田 志郎 4

農業懇話会

平成28年度食料・農業・農村白書の概要……………小山内 司 6
質疑応答…………… 22

農事功績者座談会

品目・品種を組み合わせた周年出荷の安定的な切花経営…………… 26
我が家の経営発展の過程と地域農業発展への関わり、
今後の見通し……………歌津 芳秋 26
現地指導者のコメント……………宇藤山裕美 32
意見交換…………… 34

研究の最前線

ソバ品種育成、加工利用の現状と今後の展望……………鈴木 達郎 44

農業・農村の現場から

- 農村女性起業グループにおける社員の働き方を考える……………中村 貴子 54
－兵庫県三木市・企業組合彩雲の働き甲斐に学ぶ－

世界の農業は今

- ケニアの食料・農業事情……………伊藤 紀子 59

私の経営と志

- 己以外の全員を師として仰げ……………齊藤 克 65

農政情報

- …………… 67

- 大日本農会だより…………… 68

ミニ情報

- 我が国と諸外国の食料自給率（平成28年度）…………… 25
昭和40年度以降の食料自給率の推移…………… 43

表紙写真説明

黄金色の棚田（飯山市瑞穂地区福島）

飯山市福島区の棚田は、傾斜地を削り均して出た石を積み上げて畦を作り、田の床土を固め、その上に耕土を入れて作られています。豪雪地でもあり、重圧にも耐えられるように石と石が組み合わされ、石積みが半身状に築かれているのが特徴です。

棚田はきれいな水に濾過され、保水する上でも大きな役割を果たしてきました。まさに水を守り、美しい自然とともに集落を支えてきました。

しかし、耕作不利な条件にある棚田は採算割れしてきました。そのため、集落離れた山際の田圃から荒廃化が進んで、水路や堰の水は枯れて次々と荒廃してきました。

これを何とか取り戻そうと平成10年に地元有志によって棚田保存会「棚田の里三部」が発足したのです。今大きな課題は、後継ぎになる仲間が少ないことです。行政も原風景の美しさの大切さにもっと光をあてて、地域と一体となってこの先人たちが切り開いた歴史的遺産を後世に引き継いでいく必要があります。

（写真：信州いいやま観光局、文：飯山市経済部農林課 出澤俊明）